

現状と課題／取組方向

令和8年度の主な取組内容

主要3分野の競争力強化・変革

○電子・デバイス（主に半導体）

- ・大規模誘致につながる産業用地や半導体産業の人材が不足
- ・国内の企業誘致競争が激化していることから更なる支援制度の拡充が必要

○自動車関連

- ・次世代自動車技術や労働力不足、米国関税など自動車産業を取り巻く状況変化への対応

○石油化学分野（主に四日市コンビナート）

- ・四日市コンビナートの持続可能な発展と競争力強化に向けたGX・CN化への対応

新たな分野の育成・誘致

○GX・エネルギー分野

- ・GXのさらなる推進に向け、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた取組が必要

○スタートアップ

- ・県内プラットフォーム間の連携が乏しく、スタートアップ企業数も伸び悩み
- ・地域特性を活かしたスタートアップ企業の育成が必要

○成長が見込まれる分野への取組が必要

- ・自動車、半導体に加え、新たな分野への種まきが必要

中小企業・小規模企業への支援

- ・持続的発展のために生産性向上への取組が必要
- ・経営改善に向け、経営課題を解決できる専門人材が不足
- ・あらゆるコスト（原材料費、燃料費、労務費等）の上昇が続いており、経営を圧迫

半導体関連産業の振興

本県産業の更なる成長に向けて、3つの柱で半導体産業の一層の集積を図る

戦略的な企業誘致

- ・「みえ半導体産業振興方針」（仮称）の策定
- ・三重県企業投資促進条例（補助金）を活用した企業誘致の促進
- ・他県を含めた広域連携の検討

人材育成・確保、認知度向上

- ・県内高校・高専・大学における出前授業や工場見学
- ・県外大学生・UIターン人材を対象とする就職フェア実施
- ・国と連携した広域での取組

産業用地等インフラ整備

- ・産業用地等インフラの整備が促進される方策の検討

○自動車関連

- ・次世代自動車の構造研究・分析を行い、県内関連企業の技術力・競争力を強化
- ・国内外への販路開拓、業態転換、新分野進出等を支援

○石油化学分野（主に四日市コンビナート）

- ・CN化に向け、水素ステーションの設置や燃料電池商用車の導入を支援

次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池等）の導入促進

国内での製造による県内産業の振興と合わせ、一層の地域との共生による再生可能エネルギー導入促進に向けて、ペロブスカイト太陽電池等の実証に注力

次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池等）を活用した実証事業【雇用経済部】

- ・県内企業と連携した次世代型太陽電池の実証事業を実施するとともに、導入促進を図るためのセミナー等を開催
- ・ペロブスカイト太陽電池の特性を生かした新たな製品開発支援等

県有施設におけるペロブスカイト太陽電池の実装に向けた調査・設計事業【環境生活部】
ペロブスカイト太陽電池の普及啓発事業【環境生活部】

- ・県環境学習情報センターの目玉展示の1つとして、ペロブスカイト太陽電池を用いた体験型展示を実施(市町とも連携)

実証フィールドとして所有施設を提供【四日市港管理組合】

「ゼロエミッションみえ」プロジェクト推進方針の改定に向けた検討【政策企画部】

- ・ペロブスカイト太陽電池など再生可能エネルギーの導入・利用促進を含め、同方針の改定について検討

○スタートアップ

- ・活動拠点となるインキュベーション施設の設置支援
- ・都市部の事業共創施設（ステーションAI、渋谷QWS）と連携した県内での実証フィールドの提供

○その他の成長が見込まれる分野

- ・ヘルスケア分野への参入支援

- ・収益力を確保するため適正取引・価格転嫁を促進
- ・中小企業等を取り巻く環境の変化をふまえた現状や課題、他自治体の取組等を調査・分析し、有効な支援策の検討